

第3章 労働災害

休業4日以上之死傷者は876人
死亡者は9人で死傷者は前年より減少

平成27(2015)年1月～12月の市内の労働災害被災者数(休業4日以上之死傷者)は、総計876人で前年に比べて99人減少した。

1 平成27(2015)年の労働災害の状況

(1) 産業別・規模別の特徴

- ① 休業4日以上之死傷者は前年より99人減の876人、死亡者は1人減の9人となっている。(2-3-1表)
- ② 企業規模別では、30人未満規模の事業所の死傷者数は408人(うち死亡者数8人)で最も多いが、前年と比較すると56人減(死亡者数は3人増)、30～299人の規模では死傷者数395人(うち死亡者数0人)で前年に比べて33人減(死亡者数は2人減)、300人以上の規模では死傷者数73人(うち死亡者数1人)で前年に比べて10人減(死亡者数は2人減)となっている。(2-3-1表)
- ③ 産業別に死傷者をみると、その他の事業が498人(前年比5人増)で最も多く、次いで運輸交通業148人(前年比27人減)、建設業126人(前年比44人減)、製造業104人(前年比33人減)と続いている。死亡者はその他の事業が5人(前年比1人増)、建設業が2人(前年比2人減)、運輸交通業が1人(前年と同数)、製造業が1人(前年と同数)となっている。(2-3-1表)

(2) 労働者災害補償保険の給付等状況

- ① 適用事業所は25,219事業所、労働者数は519,604人で、前年度と比べると、事業所数は1,563箇所増加、労働者数は25,574人増加している。(2-3-2表)
- ② 給付等総数は33,758件、支給額は約28億円で、前年度と比べると、184件増加し、約4億円減少している。(2-3-2表)

(3) 事故の型別労働災害発生状況

- ① 事故の型別をみると「転倒」(201件)、「墜落・転落」(140件)、「無理な動作の反動」(106件)、「巻き込まれ・はさまれ」(77件)などとなっている。(2-3-3表)
- ② 産業別に発生の型をみると、建設業では「墜落・転落」(41件)、「飛来・落下」(19件)、製造業では「転倒」(27件)、「巻き込まれ・はさまれ」(24件)、運輸交通業では「転倒」(25件)、「交通事故(道路)」(24件)などが多くなっている。(2-3-3表)
- ③ 市内の労働基準監督署に報告のあった死亡事故の発生状況の詳細については、2-3-4表に記載したとおりである。

2-3-1表 産業別・規模別労働災害発生状況(平成27(2015)年 1月～12月)

(単位:人)

産業別 規模別	事業所規模別被災者 () は死亡者数				H26 (2014) 年 産業別内訳
	30人未満の 事業所 (事務組合も含む)	30～299人の 事業所	300人以上の 事業所	H27 (2015) 年 合 計	
建 設 業	108 (2)	18 (0)	0 (0)	126 (2)	170 (4)
製 造 業	48 (0)	38 (0)	18 (1)	104 (1)	137 (1)
運 輸 交 通 業	44 (1)	104 (0)	0 (0)	148 (1)	175 (1)
そ の 他 の 事 業	208 (5)	235 (0)	55 (0)	498 (5)	493 (4)
規模別内訳					参考) 全国計
H27 (2015) 年 計	408 (8)	395 (0)	73 (1)	876 (9)	116,311 (965)
H26 (2014) 年 計	464 (5)	428 (2)	83 (3)	975 (10)	119,535 (1040)

注1:休業4日以上死傷者数であり、()内は死亡者数である

注2:死傷者数は労働者死傷病報告、死亡者数は死亡災害報告による

資料出所:神奈川県労働局(川崎南・川崎北労働基準監督署 計) 厚生労働省(全国計)

2-3-2表 労働者災害補償保険給付等状況(平成27(2015)年度)

(単位:件、千円)

項 目		川崎南労基署	川崎北労基署	H27 (2015) 年度 合計	H26 (2014) 年度 合計
事業所数	(所)	12,494	12,725	25,219	23,656
労働者数	(人)	257,548	262,056	519,604	494,030
総数	件数	15,313	18,445	33,758	33,574
	金額	1,442,127	1,389,174	2,831,301	3,243,191
療養補償給付	件数	12,953	16,225	29,178	28,701
	金額	778,977	801,998	1,580,975	1,859,995
休業補償給付	件数	1,991	1,965	3,956	4,199
	金額	409,613	367,530	777,143	823,397
障害補償給付 (一時金)	件数	84	71	155	174
	金額	172,359	131,323	303,682	364,231
遺族補償給付 (一時金)	件数	3	7	10	12
	金額	35,322	56,989	92,311	117,973
葬祭料	件数	18	16	34	38
	金額	15,043	12,349	27,392	26,696
介護補償給付	件数	264	161	425	450
	金額	30,813	18,985	49,798	50,899

資料出所:神奈川県労働局

2-3-3表 川崎市内の業種別・規模別・事故の型別災害発生状況 (休業4日以上之死傷)

規模・型別 業種別		合 計	事業所の規模別 () 内は死亡者数					事 故 の 型 別			
			9人以下	10～49人	50～99人	100～ 299人	300人 以上	墜 落 ・ 転 落	転 倒	激 突	飛 来 ・ 落 下
建設業	土木工事	30 (1)	15	13 (1)	2	－	－	7	3	3	7
	建築工事	80 (1)	52 (1)	19	7	2	－	30	8	3	10
	その他の建設	16 ()	8	7	1	－	－	4	2	－	2
	計	126 (2)	75 (1)	39 (1)	10 ()	2 ()	0 ()	41	13	6	19
製造業	食料品製造	31 ()	1	5	10	6	9	－	8	3	1
	繊維工業	0 ()	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	衣服その他の繊維	0 ()	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	木材・木製品	2 ()	2	－	－	－	－	－	－	－	－
	家具・装備品	0 ()	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	パルプ等	2 ()	－	1	－	1	－	－	－	－	1
	印刷・製本	0 ()	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	化学工業	8 ()	1	2	1	2	2	－	4	－	－
	窯業土石	1 ()	－	1	－	－	－	－	1	－	－
	鉄鋼業	7 ()	1	3	－	－	3	1	2	－	－
	非鉄金属	1 ()	1	－	－	－	－	－	－	－	1
	金属製品	22 ()	10	9	－	3	－	4	4	－	4
	一般機械器具	13 ()	6	6	－	1	－	1	2	－	1
	電気機械器具	5 (1)	－	2	－	－	3 (1)	－	1	1	1
	輸送機械製造	5 ()	2	2	－	－	1	－	2	－	1
	電気・ガス	1 ()	－	1	－	－	－	－	1	－	－
	上記以外の製造業	6 ()	－	5	－	1	－	2	2	1	－
	計	104 (1)	24 ()	37 ()	11 ()	14 ()	18 (1)	8	27	5	10
鉱業		0 ()	－	－	－	－	－	－	－	－	－
運輸交通業	鉄道等	1 ()	－	－	－	1	－	－	1	－	－
	道路旅客	38 ()	－	－	4	34	－	1	5	1	10
	道路貨物運送	109 (1)	7	67 (1)	17	18	－	20	19	16	－
	その他の運輸交通	0 ()	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	148 (1)	7 ()	67 (1)	21 ()	53 ()	0 ()	21	25	17	10
貨物取扱	陸上貨物	32 ()	4	11	7	9	1	4	6	4	2
	港湾運送業	2 (2)	1 (1)	1 (1)	－	－	－	－	－	－	－
	計	34 (2)	5 (1)	12 (1)	7 ()	9 ()	1 ()	4	6	4	2
農林業		7 ()	3	4	－	－	－	3	－	－	1
畜産・水産業		7 ()	4	3	－	－	－	3	－	－	－
商業		151 (1)	27	60 (1)	18	26	20	16	45	10	11
金融広告業		6 ()	－	1	3	1	1	1	2	－	－
映画・演劇業		5 ()	－	4	1	－	－	2	－	1	－
通信業		19 ()	1	－	－	－	18	4	6	1	－
教育研究		7 ()	－	2	4	－	1	2	2	1	1
保健衛生業		100 ()	7	45	23	19	6	11	28	4	－
接客娯楽		77 ()	11	50	8	7	1	5	17	3	4
清掃・と畜		58 (1)	12 (1)	22	8	12	4	15	23	4	2
官公署		0 ()	－	－	－	－	－	－	－	－	－
その他の事業		27 (1)	4 (1)	7	8	5	3	4	7	－	1
平成27(2015)年 総計		876 (9)	180 (4)	353 (4)	122 ()	148 ()	73 (1)	140	201	56	61

注：労働者死傷病報告より

資料出所：神奈川労働局

平成27(2015)年（1月～12月）

事故の型別																	
崩壊・倒壊	激突され	巻き込まれ	はさまれ	こすれ	切れ・踏み抜き	溺れ	高温・低温との接触	有害物等との接触	感電	爆発	破裂	火災	（道路）交通事故	（その他）交通事故	無理な動作の反動	その他	分類不能
-	3	4	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	5	5	11	-	-	-	2	1	-	-	-	-	3	-	2	-	-
-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-
0	8	13	11	0	0	0	3	2	0	0	1	0	4	0	5	0	0
1	-	8	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	1	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	1	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	2	24	8	0	0	0	1	3	0	0	1	0	3	0	10	0	1
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	-	7	3	-
1	2	10	2	1	-	1	1	-	-	-	-	-	6	-	16	1	3
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	4	11	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0	24	0	23	4	3
3	5	3	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	5	4	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	0	1
-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1	4	12	20	-	-	3	-	-	-	-	-	-	10	-	17	2	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	1	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
-	4	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-	9	-	33	8	-
1	-	4	20	-	-	10	1	1	-	-	-	-	7	-	2	2	-
-	1	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	6	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	2	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	4	-	4	1	-
7	34	77	65	1	0	22	8	1	0	2	0	0	72	0	106	18	5

注：労働者死傷病報告より

資料出所：神奈川県労働局

2-3-4表 川崎市内の事業所における労働災害(死亡事故)

発生時期	発 生 概 要 < 平成27年(2015) 年1月～12月 >
1月	被災者は、移動式クレーンを使用して、本船にスクラップを積込む作業中に、トラック用マーカを当該移動式クレーンに積込もうとして近づいた際、回転していた上部旋回体のカウンターウェイトとクレーン車体の間に頭部をはさまれたもの。
2月	被災者は、自宅で倒れているところを訪問した上司が発見したもの。過重業務として労災認定された。
2月	被災者は、戸建住宅の解体工事において3階から内装ボード(1枚5キロ程度)を地上のコンテナボックスに落とし入れていた際、地上まで6.14m墜落したもの。
6月	被災者は、トラックにて納品された荷の荷卸し作業を重機2台を使用して作業中に、トラック荷台の上にいる被災者に重機が激突した。
10月	被災者は、開放検査終了後のタンクにヘキシルグリコールを入れる作業において、品質確保のため窒素を注入して酸素濃度を0.5%以下としていた。被災者は12時半ころタンク上部において一人で酸素濃度測定を行っていた。
10月	被災者は、トラックの荷台に金属製製品を4段に積み込む作業が終了し、固縛するため被災者が荷台に上がっていた。天井クレーンの操作者が床上で操作して走行させたところ、クレーンの一部が製品に接触して最上段の製品が落下し、被災者も床まで落ちた。
10月	被災者は、道路補修工事において、ドラグショベルのバケットに先端がコの字状のつり上げ器具を取り付けて敷鉄板(1.5×3.0m、重量約700kg)を吊り上げた際、吊り上げ器具から鉄板が外れて、吊荷を押さえていた作業員に倒れ掛かり、大腿部を挟まれ死亡した。
12月	被災者は、タービン発電機の固定子枠の加圧検査の結果、固定子枠の蓋からの空気漏れが判明したため、被災者ほか1名が昇降機により蓋の近くまで上昇し、パッキング手直しのため他の労働者が蓋を外している途中で蓋が飛んで被災者の顔面に当たり、その反動で高さ約3.3mの昇降機から床面に墜落した。
12月	被災者は、作業開始前の清掃業務に従事していた。被災者が倉庫内で頭から出血して倒れているのを発見され、搬送先の病院で事故から6日後に死亡。転倒して頭部を打ったものと推定される。

資料出所:神奈川労働局

【参考】全国重大災害発生件数:一度に3人以上死傷者又は疾病を発生させた労働災害

暦 年	発 生 状 況		
H25(2013)年	244件	死傷者 1,536人	死亡者 57人
H26(2014)年	292件	死傷者 1,599人	死亡者 58人
H27(2015)年	278件	死傷者 1,321人	死亡者 31人

資料出所:神奈川労働局